

ものづくり基本計画		(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度	
事業名	大学等研究機関への相談機会の拡充	予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円
		決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円
事業概要	<p>市内のものづくり事業者の大学等研究機関に対する相談機会の拡充を図る。静岡市ものづくり産業振興基本計画を策定するにあたり、市内中小事業者等へのヒアリングを実施したところ、次のようなコメントが多数聴かれた。</p> <p>■中小事業者の主なコメント 「商品開発への取組みに際して、大学等の研究機関に相談を掛けたいと思う機会が度々あるが、具体的にどこへどのように行ってよいのか分からない。」 「大学等の研究機関に相談できず、解決策に行き着かないまま終わってしまうことが多々ある。」</p> <p>そのため、中小事業者の多様なニーズを汲み取るとともに、大学等の研究機関などとの結び付きを図る中間支援機能が必要とされていることから、今回の基本計画の策定に際して事業化が図られた経緯がある。</p>	取組状況	<p>H26.9.1 現在</p> <p>■産業振興課 (静岡商工会議所製造業部会事務局等) ・相談機会の拡充に向けた打合せ会(開催予定)</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施予定。 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>		
		進捗率等	<p>H26.9.1 現在 (開催回数)</p> <p>H27.3.31 現在 (開催回数)</p> <p>H24 / 2回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 4回</p>		(開催回数)
成果目標	相談機会 6回/3年				
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価	<p>事業結果</p> <p>■産業振興課 (静岡商工会議所製造業部会) ・製造業部会において、中小企業が抱える課題等に関し、大学への相談を通じた課題解決を促す説明を実施</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・12月10日中小企業向け公設試見学会(工技研)を実施。 参加企業数4社 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>		
	大施策				
	中施策				
産業振興プランの位置付け	基本方向	<p>次年度に向けた改善点</p> <p>・目標の未達成理由等</p>	<p>■産業振興課 次年度は、静岡商工会議所製造業部会との連携を強化する中で、中小企業のニーズと大学の研究成果等の結び付きが円滑に実施されるように、当該部会等との連絡調整を進めていく。</p> <p>■産業政策課 次年度は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズの掘り起しや大学等とのマッチングに努めていく。</p>		
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係 産業政策課 新産業係</p>		その他(特記事項)		

事業 22	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度			
	事業名	産学官交流事業の推進		予算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
				決算見込額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
	事業概要	中小企業の新商品開発、新事業進出などを支援するため、産学交流センターや清水産業・情報プラザにおいて、情報提供や大学と企業との交流・連携事業を実施します。		取組状況 H26.9.1 現在	(産学交流センター) ・9月1日現在、実績なし ・今後の予定 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催予定(平成27年3月)		
					(清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 3回、受講者数138人		
					進捗率等	H26.9.1 現在	(交流会開催数) H26 / 3回
	H27.3.31 現在	(交流会開催数) H24 / 7回 H25 / 8回 H26 / 8回 計 / 23回	(交流会開催数)	114.2 (%)			
	成果目標	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施		事業評価	事業結果 (産学交流センター) 平成27年3月13日 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催。参加者数80名 (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数383人		
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針					
		大施策					
中施策							
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(産学交流センター) 中小企業の新商品開発や新事業進出のための共同研究については委託費の見直しを要望する声が多くあるため、予算の範囲内で新たな、事業の拡充を目指す。 (清水産業・情報プラザ) 交流会で終わらず、成果が出るように、追跡調査に努めていく。			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の 推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 23	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	異業種交流事業の推進		予算額	128千円			
				決算見込額	128千円			
	事業概要	地域経済の活性化、新産業及び新事業の創出を促進する各種団体への助成等を行うことにより、異業種間の交流を行い、情報、技術等の交換により、相互交流事業の推進と経営意識の高揚、経営ノウハウの構築を推進します。		取組状況	H26.9.1 現在	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 4回、参加者数 105人		
		補足事項			進捗率等	H26.9.1 現在	講演会等 ・開催数 4回 ・参加者数 105人	
						H27.3.31 現在	講演会等 ・開催数 30回 ・参加者数 858人	
	成果目標	異業種交流を推進する団体への助成		事業評価	事業結果 静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 8回、参加者数 186人 ・視察会 2回、参加者数 22人			
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	異業種の交流がもっと活発になるような運営方法を検討していく。				
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援						
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度					
	事業名	メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援		予算額	6,600千円の一部 千円				
				決算見込額	6,600千円の一部 千円				
	事業概要	海外を含む著名なクリエイターと地域企業、地元クリエイターと海外企業、あるいは地域のクリエイターと企業とのビジネスマッチングにより、高い付加価値を持った新商品の開発・ブランド化等を推進します。		取組状況	H26.9.1 現在	商談者数18社うち、2社決定			
					補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在	(新商品開発件数)	(%)
	H27.3.31 現在	(新商品開発件数) H24 / 6件 H25 / 5件 H26 / 2件 計 / 13件	(%)						
	成果目標	マッチングによる新商品開発数 3件/3年		事業評価	事業結果	参加企業2社とクリエイターによる新商品開発を実施。			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化			事業評価	事業結果	参加企業2社とクリエイターによる新商品開発を実施。	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進						
		中施策	②創業と新事業展開の推進強化						
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	事業評価	事業結果	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 商談会の広報について積極的に行い、企業の掘り起こしの努力をする必要がある。				
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成							
	基本施策	②コンテンツ産業の振興							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)						

事業 25	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	農商工連携の推進		予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部	千円		
				決算見込額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部	千円		
	事業概要	第一次製品の生産拡大を包括したマーケティング支援事業を展開、専門家を活用し、地域資源を活用した既存商品を、さらに「売れる商品」に向上させるための事業を実施します。		取組状況	H26.9.1 現在 ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体の掘り起こし等の支援を実施中。(静岡県中小企業団体中央会と連携) ・情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席。			
		補足事項			進捗率等	H26.9.1 現在 H27.3.31 現在		
					事業体の掘り起こし 4者			
	成果目標	農商工連携による商品開発への支援		事業 評価	事業結果 ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体を計4者掘り起こし、支援を実施した。 (例:丸子産梅の6次産業化。地元農家等が主体となり梅干し製造。支援機関の専門家派遣を利用し商品のブラッシュアップを行い、結果として地元百貨店で歳暮商品として販売された) ・6次産業化・農商工連携に関する情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席			
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興						
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進						
	基本施策	②生産・流通・消費の連携促進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 シーズの継続的な発掘及び、新産業振興プラットフォームによる支援により事業支援していく。				

ものづくり基本計画		(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度	
事業名	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進	予算額	2,000		千円
		決算見込額	2,000		千円
事業概要	<p>県のプロジェクトに参加、プロジェクトで得られた成果を普及し、地域産業界における事業化を促すとともに、産学官連携の一層の強化、次代を担う人材育成等を行います。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・フーズ・サイエンスセミナーin静岡の実施 5月27日 参加者数 148人 ・技術相談会・マーケティング相談会の実施 6月26日 相談件数 15件 ・研究施設見学会の実施 6月24日 参加者 47名 ・食品等開発研究会の参加企業及びテーマの決定 市内企業数4社 テーマは菓子、珍味、飲料、惣菜、空港就航地の5部会 ・今後の予定 フーズ・サイエンスセミナー 2回実施(藤枝市、牧之原市) 技術相談会・マーケティング相談会 3回実施(藤枝市、島田市、牧之原市) 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発 	
		補足事項	H26.9.1 現在		
進捗率等		H27.3.31 現在	セミナーの実施 4回 技術相談会・マーケティング相談会 5回 研究施設見学会 1回 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発完了		
	成果目標	プロジェクトの推進			
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・フーズ・サイエンスセミナーの実施 開催回数4回 参加者数614人 ・技術相談/マーケティング相談会 開催回数5回 相談件数69件 ・研究施設見学会 開催回数1回 参加者数47名 ・食品等開発研究会 11月に試作品の内覧会を実施し、また12月に商談会を実施した。 3月末に新製品(試作品)の開発を完了。 	
	大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化			
	中施策	①研究開発力の強化			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	事業評価	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等 ・食品の機能性表示制度の見直しに伴い、新たな商機が産まれることから的を絞った事業展開を目指す。	
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成			
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度		
事業名	地域結集型研究開発プログラムの推進	予算額	5,000 千円			
		決算見込額	5,000 千円			
事業概要	地域産学官の連携のもと、世界市場を視野に入れた新世代茶飲料・素材の開発・事業化を目指します。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>前年度末までの地域結集型研究開発プログラムで得られた研究成果の普及、事業促進を目指すため、市と産業振興財団で協定を締結。事業化を推進している。</p> <p>【協定期間】 平成26年4月～平成29年3月</p> <p>【事業化に向けた活動】 毎月の定例会における情報・活動状況の共有。 【商品の普及に向けた活動】 お茶祭り、産業フェア、各種展示会への出展</p>		
			進捗率等	H26.9.1 現在		
	補足事項		H27.3.31 現在			
成果目標	プログラムの推進		事業評価	事業結果	<p>前年度末までの地域結集型研究開発プログラムで得られた研究成果の普及、事業促進を目指すため、市と産業振興財団で協定を締結。事業化を推進している。</p> <p>【協定期間】 平成26年4月～平成29年3月</p> <p>【事業化に向けた活動】 毎月の定例会における情報・活動状況の共有 【商品の普及に向けた活動】 お茶祭り、産業フェア、各種展示会への出展</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
	大施策	(3) 地域経済を支える知的経営資源の活用強化				
	中施策	① 研究開発力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>研究成果をもとに、事業化を推進する「フェーズⅢ」を静岡県及び公益財団法人静岡県産業振興財団と連携し進めていく。 特に研究成果の商品化に向けた活動を進める。</p>			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成				
	基本施策	① 健康・環境クラスターの形成推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度	
事業名	駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進		予算額	10,000 千円	
			決算見込額	9,358 千円	
事業概要	<p>「駿河湾地域新事業推進研究会」が推進する、地域資源を活用した産学官連携による新事業創出に向けた活動に対し支援を実施します。</p>		取組状況	<p>H26.9.1 現在</p> <p>平成26年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究（東海大学） ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究（静岡大学） ・植物からの有効成分抽出研究（静岡大学）</p>	
	補足事項		進捗率等	<p>H26.9.1 現在</p> <p>H27.3.31 現在</p> <p>(事業化件数) H24 / 2件 H25 / 1件 H26 / 0件 計 / 3件</p> <p>100 (%)</p>	
成果目標	事業化件数 3件 / 3年		事業結果	<p>平成26年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究（東海大学） ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究（静岡大学） ・植物からの有効成分抽出研究（静岡大学）</p> <p>平成26年度事業化件数 0件</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策方針</p> <p>IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化</p> <p>大施策</p> <p>(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化</p> <p>中施策</p> <p>①研究開発力の強化</p>	事業評価		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>27年度より新産業開発振興機構に事業移管するため、各事業の事業化・発展・開発への具体的な道筋をつける必要がある。</p>	
産業振興プラン位置付け	<p>基本方向</p> <p>3 次代を担う産業集積の構築</p> <p>基本方針</p> <p>(1) 新産業クラスターの形成</p> <p>基本施策</p> <p>②環境関連産業の振興</p>	その他(特記事項)			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係				

事業 29	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437千円			
				決算額	6,141千円			
	事業概要	静岡の特色を活かした家具等の次代を担う新商品の開発を支援し、新規流通開拓を模索するため、意欲的企業による研究会の組織、デザイナー等とのコラボレーションによる新商品開発等に取り組みます。		取組状況	H26.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 昨年度参加のチームを基に、新たにデザイナーとデザイン開発を行い試作を行った。プロデューサー指導のもとブラッシュアップに努め、商品の完成度を高めた。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成中。HPやブログ等で途中経過や展示会告知を実施中。 ■展示会への出展(予定) 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展予定。商品化を図るべく出展に向けての準備を行っている。 		
					進捗率	H26.9.1現在	(開発点数)	(%)
	H27.3.31現在	(開発点数) H26 30点 ※平成26年度～単年度事業	300	(%)				
	成果目標	開発点数 平成24～25年度 20点 (平成26～27年度 20点)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 既存参加のチームを基に参加チームを募り、プロデューサー指導のもとデザイナーとデザイン開発を行い、試作を繰り返した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の模索 再試作等を実施し、各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価等	<ul style="list-style-type: none"> (事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項 		
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化					
		中施策	②産学官・産業界・企業間の交流と連携の推進					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> (事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等 	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 ①商品化率の向上のため、2年継続事業を単年度事業とした。 ②事業期間の短縮に対応するため、開発チームは既存の参加チームより選出し、また既存開発品をベースにリニューアルを行うなど効率化に努めた。 ③流通化をより高めるため、首都圏での見本市出展を毎年行うこととした。 				
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の推進						
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進						
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業係 							
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係							

事業 30	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	5,840千円			
				決算見込額	5,840千円			
	事業概要	<p>これまでの新産業開発振興機構の活動実績を踏まえつつ、今後の市内ものづくり事業者との新たな連携を含めた活用の検討を推進する。</p> <p>同機構は、会員企業の技術や販路等に関する経営資源のハイブリッド化を図り、時代のニーズに応じた「ものづくり」や「ビジネスモデル」の研究に取り組む本市の重要な地域資源の一つである。</p> <p>そのような機構の事業概要は、産産連携及び産学連携による新産業創出に向けた研究開発をはじめ、新産業レポートなどの情報発信、県内学術研究機関(静岡大学、静岡県立大学等)との交流事業、講習会等の研修事業などを幅広く展開している。</p> <p>このように市内の中小企業が多数参加する当機構の連携を模索する中では、これまでにない業界との連携を視野に入れ、本市のものづくり産業における新たな展開の検討を進める必要がある。具体的には、深刻な後継者不足等を抱えながらも、若手クラフトマンの育成などにも尽力する伝統工芸分野とのコラボレーションも当該機構の新規展開事業として、その一つの選択肢に含まれるものとの期待から事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>地域企業の「産産連携」と「産学連携」を推進した。</p> <p>産産連携では、しみず新事業創出研究会を中心に会員相互の情報提供や意見交換を通し、地域の知的資産のハイブリット化を目指した。</p> <p>産学連携では、駿河湾地域事業化プロジェクトから生まれたシーズの支援をし、植物環境ストレス耐性向上技術を活用した肥料が販売中である。</p> <p>また、日本国特許(第5544450号、平成26年5月16日登録)、オーストラリア特許許可通知(H27年1月29日許可)を取得した。海外は米国ほか数国に出願・審査中。</p>		
				進捗率等	H26.9.1 現在			
					H27.3.31 現在			
	成果目標	新産業開発振興機構の活用の検討		事業評価	<p>■産業振興課 伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携について、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との打合せを実施した。結果としては、両者のマッチングに困難な側面はあるものの、今後も継続的な協議を進めていくものとする。</p> <p>■産業政策課 地域企業の産産連携・産学連携による新事業創出を目指す同機構に対し、財政的な支援をすることで、会員企業の新規開発テーマの情報提供として、大学等のシーズ紹介を主な内容とした産学官交流会(4月・6月・7月・9月・10月・11月・1月)の開催等、会員企業に対し、新事業創出のきっかけを提供する事業が行なわれてきた。 今後も同機構の支援を通じて、会員企業を中心とした地域における産産連携・産学連携を推進していきたい。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■産業振興課 次年度においても、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていきます。</p> <p>■産業政策課 引き続き新しい事業の創出につながる機会の提供、会員企業等への効果的な支援等が行われるよう同機構に求めていく。</p>					
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)					